

緑丘幼稚園 だより



2022年
(令和4年)
1月25日
No.14



今こそ お家時間を大切に♡

10歳未満の感染拡大が急増加し、心配な状況が続いています。保護者の皆様におかれましては、感染防止対策に気を遣われながらの育児で、さぞかしお疲れが出てくる頃でしょう。いつも本園の教育活動に温かいご協力をいただき、厚く感謝しております。ありがとうございます。

感染状況は心配ですが、親子でじっくりゆっくりふれあえる絶好の機会です。ゲームやYouTubeに頼るのではなく、一緒にすごろくやかるた、こま、トランプ、あやとり(年長組)等遊べるチャンスでもあります。現状になる前の幼稚園では、すごろくは、年少のたんぼぼ組でも自分達で作りたいと声が出ていました。年長のさくら組でも、かるたを自分達で作っていました。進級や入学を目前に控えている子ども達に、幼稚園で興味関心を高めていた遊びを通して、数や文字・言葉に親しむのには、今、好機です。心を育む大切な時間です。



また、自分でスケジュールを立てて一日の過ごし方を決めるのも、主体性を育み、自立につながると思います。例えば、昼ご飯までは、〇〇のお手伝いとブロック(制作)をする。昼からなわとびをして、ゲームを長い針が〇までする等自分で決めてやるのが、大きな成長につながります。できなくても、失敗が大事●失敗から学ぶことで、次への学びになります。自分で考えたこと、トライしたこと、あるいは一つ出来たこと等 小さな頑張りや成長をしっかり認め、ほめてください。ほめられる子どもは、うんと成長します。叱られ続けると、自信を失い、次への意欲になかなかつながりません。私達大人は、しっかり子どもの気持ちや行動を見取り、やる気スイッチを入れたいものですね。



※写真はいつものように子ども達が登園していた時のものです



環境で伸びる言語能力！

心理学者 榎本博明氏によれば、「経済力の学力格差」を乗り越える方策は「読書」にある、と提唱されています。今、国語だけでなく、数学や理科等の問題でも、文章が長文化し、読解力が求められています。

著者は、「本を読む子は、語彙力や読解力が高まるため本を読むことが苦にならず、読書を楽しむことができる。それによって、ますます語彙力や読解力が高まり、読書好きになっていく。一方、あまり読書をしない子は、語彙力や読解力が乏しいため本を読むことが苦になり、あまり読書を楽しめない。その結果、なかなか語彙力も読解力も高まらず、読書嫌いになっていく。」とされています。また「幼児期に読み聞かせを始めた時期が早いほど、また読み聞かせの頻度が高いほど、語彙力が高いことが明らかになっている。」と読み聞かせや読書のすすめを述べられています。「全国学力学習状況調査」でも読書量と学力は比例するという結果も出ています。



子ども達は絵本が大好きです。是非、本を親子で手に取り、一緒に絵本を見たり描かれている人物や動物を指さしたりしながら会話を楽しんでください。

幼稚園に新しい玩具が入りました！ 子ども達との遊びを楽しみに待っています

本年度の市費の予算で、新しい玩具を購入しました。古くなっていたので、かるたやすごろく、トランプ、ドレミマットが入りました。新しい玩具がさらに子ども達の遊びを広げ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさに展開することを願うばかりです。

新しいかるたやカードは、お家に貸し出しします。是非子ども達と一緒に家族で楽しんでください。また、ドレミマットは、「ド」から高い「ド」まで8枚のマットが楽器になります。マットを踏むと、踏み方(たたき方)によって演奏することができます。マットを積み上げて音を重ね、奏することもできます。子ども達が想像力豊かに、友達といろいろ試しながら音遊びを楽しめるように購入しました。乞うご期待！



幼稚園では、新型コロナウイルス感染状況が一日も早く落ち着き、子ども達が登園してくるのを首を長くして待っています。さくら組では、本来1月に凧を自分達で作って、空高く揚げるのを楽しむのですが、本年度は・・・今職員が凧揚げの凧を作っています。子ども達が仕上げをして、遊ぶのを夢見ながら。また、年少組も子ども達の声(登園している子ら)を聞きながら、いろいろな材料を準備して待っています。



※今後の対応については、分かり次第メールでお知らせします。